



趣味は、「問題解決」。  
東郷湖への愛が止まらない。

釣り・潜り・手づかみの魚さんまい。子どもの頃から東郷川を遊び場に育った中前雄一郎さんの肩書は、「漁師のおっちゃん」だ。

「正確な職歴は、漁師↓教師↓漁師です」と言うが、今でも野外活動のガイドやゲストティーチャーとして引っぱりだこの日々。

「東郷湖・天神川サケの飼育放流プロジェクト」を立ち上げ、魚道をサケやコイが上っていく感動の瞬間を多くの人に披露もする。

「ここには、環境省のレッドリスト(絶滅の恐れのある野生動物のリスト)にある希少種がたくさんいる」と、魚を獲って写真撮って、『地域限定 手づくり魚類図鑑』まで作った。

東郷町で生まれ育ち、小学校の校長を退任してから、漁師&教師の合わせ技で、近辺の生き物の環境に熱意を傾けている。「趣味は問題解決!!」と胸を張り、魚の種類も写真の技術も、すべてが独学だ。東郷湖のすこい魚やえらい鳥のことを、より多くの人に伝えたいと、日本全国を2周半まわった。

「東郷湖は宝。日本海もいい。森に行けば、湯梨浜の『まちの鳥』サンコウチョウ(三光鳥)にも会える」

なぜサンコウチョウかと言えば、湯梨浜町は、2004年に羽合町と泊村と東郷町の3つが合併して生まれた町だから。「次は『手づくり鳥類図鑑』を作ります。夢はこれらの印税生活ですが、行政で買い取ってくれるから無理ですな。あはは」

漁師のおっちゃん  
中前雄一郎

ゆ  
う  
ゆ  
う、  
ゆ  
り  
は  
ま

